



雪かき奉仕に取り組むPHANTOMのメンバー

江刺の小学生バレーボールクラブ 夢の全国大会出場 活躍誓い除雪奉仕

江刺ジュニアバレーボールクラブ「PHANTOM(ファントム)」(後藤一臣監督)は6日、東北新幹線水沢江刺駅前で雪かきボランティアに励んだ。奉仕に汗しながら選手たちは3月に出場予定の全国大会での活躍を誓っていた。

同クラブは昨年11月開催の第29回県小学生バレーボール育成大会で見事初優勝。3月に高知県で開催する第10回全国少年少女交流大会に県代表として出場する。

この日の奉仕は、冬休み中に地域社会に貢献しようとするメンバーが自発的に企画。児童8人と保護者会会長の千葉茂幸さん

メンバーが自発的に
地域へ恩返し
キャプテンの菊池比呂君(11)は「江刺愛宕小5年」は「今まで活躍できたのは地域の皆さんのおかげ。全国大会には強豪がたくさん出場するが、チーム力を高めて優勝したい」と健闘を誓った。

同駅の石垣信義総括助役は「雪かきはとてもありがたい」と感謝し、「大会ではげがのないよう精いっぱい頑張ってほしい」と激励していた。